

図書館だより

NO.285 2022年2月号
(2022年2月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話 (0829) 20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる 図書館サービスの一部休止について【期間延長】

広島県の「まん延防止等重点措置」の適用期間が延長されたことから、引き続き、視聴覚資料の閲覧・インターネット閲覧パソコンの利用等の一部サービスを制限いたします。

利用者の皆さまには、館内での滞在時間の短縮(おおむね30分以内)・マスクの着用・入出時の手指消毒に、ご協力をお願い申し上げます。

【利用制限期間】令和4年1月9日(日)～2月20日(日)

※感染拡大によっては、期間を延長することがあります。

※特別整理期間のため、大野図書館は2月10日(木)～17日(木)を休館、
はつかいち市民図書館は2月18日(金)～24日(木)を休館しています。

利用できないサービス

- ・視聴覚資料の視聴
- ・インターネット閲覧パソコンの利用



《中央展示》

『極上のミステリーをあなたに』

ミステリーはお好きですか？

探偵や刑事が難事件の真相を暴く本格ミステリーから、日常生活の中でふとした謎を解く日常ミステリーまで、日本に限らず海外の小説からも集めました。

----- 今月の展示 -----

《企画展示》

『おかしな本 あつめました！』

ヘン？ 不思議？ おもしろい？

1月に引き続き、一風変わった
“おかしな本”を集めて展示しています。



展示期間：1月28日(金)～2月17日(木)

図書館サービスの一部休止（1月20日～28日）に伴う返却及び予約取り置き期限の延長について

1月13日（木）～19日（水）と、1月20日（木）～28日（金）の期間、はつかいち市民図書館（本館）は予約資料の貸出に限定したサービスとなっていました。1月29日（土）から視聴覚資料の閲覧・インターネット閲覧パソコンの利用等の一部サービスの制限に戻りました。利用者の皆さまには長い間、ご不便・ご迷惑おかけして、申し訳ありませんでした。

【資料の返却及び予約取り置き期限の延長について】

図書館サービスの一部休止に伴い、貸出資料の返却期限及び予約取り置き期限を次のとおり変更しています。

★令和4年1月20日（木）～2月8日（火）が返却期限となっている資料

※一度延長した資料、令和4年1月13日（木）～19日（水）が返却期限となっており、
1月26日（水）まで期限を変更した資料は含みません。

※資料を延長する場合は、本来の返却期限から2週間です。

★令和4年1月20日（木）～2月2日（水）に用意できた予約資料の取り置き期限

※令和4年1月6日（木）～19日（水）に用意できた予約資料で、
1月26日（水）まで取り置き期限を変更した資料は含みません。

→ いずれも2月9日（水）まで

はじめてみよう！

はつかいち市民図書館 令和3年度「子どもと本の講座」

心つながるストーリーテリング

ストーリーテリングとは、語り手が昔話などの物語を覚え、語り聞かせる手法です。聞き手は、語り手の声のみでおはなしの場面を想像しながら楽しむことで、おはなしをより身近に感じ取ることが出来ます。本講座では、ストーリーテリングの魅力やおはなしの選び方、語り方のポイントなどを学びます。

令和4年3月6日（日）13：30～15：30

場 所：廿日市市役所7階 会議室 定 員：40名（先着）

対 象：ストーリーテリングを始めたい人、活動をしている人など

申 込：はつかいち市民図書館カウンターへ直接、
または電話（TEL：0829-20-0333）で。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況により、中止となる場合があります。
- ・発熱やせきなど、体調が悪い方は参加をご遠慮ください。
- ・受講時はマスクの着用をお願いします。

ストーリーテリングに興味のある方なら、
だれでも参加可能
参加無料

関谷裕子さん講演会『読み継がれる絵本やお話を目指して』を開催しました



今月号も1月号に引き続き、株式会社こぐま社の元編集長、関谷裕子さんの講演会をレポートします。後半は、「耳から聞く文学」として、世界の昔話を豊かな言葉で紡ぎ、ロングセラー絵本とともにこぐま社の大切な柱となった「子どもに語るシリーズ」についてお話いただきました。



～グリムからの出発 すべての土台はここから～



<「子どもに語るシリーズ」の原則>

- ・耳から聞いたときにお話がイメージしやすい文に
- ・声に出したとき、口に乗しやすいことばで
- ・話の筋がくっきり浮かび上がるような、余計な装飾を排除した、素朴な表現で
- ・語りのテキストとして使いやすく、子どもも読みやすい装丁、組版で
- ・英語圏以外の国のものは、できる限り原語から訳す

「子どもに語るシリーズ」は、東京子ども図書館理事長(当時)の松岡享子^{まつおかきょうこ}さんの強力な後押しでスタートしました。最初は「グリムの昔話」。200話以上あるグリムの昔話から、東京子ども図書館やかつら文庫*での豊富な語りの経験を生かして佐々梨代子^{ささりよこ}さんが、子どもが喜ぶ話60話を選び、ドイツ文学者の野村^{のむら}滋^{ひろし}さんと共に訳文を練り上げ、全6巻にまとめてくださいました。この6冊がなければ、以下23巻までのこのシリーズは船出できませんでした。

各巻の構成は、佐々さんがお話の登場人物や、長さ、話の柄(性質・内容)などをカードに書いて、それを並べ、俯瞰することで決めていったそうです。特徴的なことは、1冊の中で後ろに行くほどにお話の対象年齢が高くなるよう配置され、文章中の漢字の割合も増えること。このカードの並び替え作業にとっても時間がかかったそうですが、ここでしっかり形が決まったことで、ページ数やお話のバランスが整った6巻を作ることができました。

*かつら文庫は、地域の子どもたちが、くつろいで自由に本が読めるようにと願い、作家、翻訳家、編集者として活躍された故石井桃子さんによって1958年にはじめられた小さな図書室です。現在活動は、東京子ども図書館により引き継がれています(東京子ども図書館 HP より)。



～研究者、語り手、編集者の共同作業～

「昔話は、本来伝承で伝わってきた文学である」ということ、そしてグリムの昔話で形が決まったことにより、シリーズの「原則」ができました。この原則で本を作るため、その国の昔話に精通しており、かつ訳文に語り手が手を加えるということを了承してくれる研究者を探すことが、第1の難関でした。お話の内容がバラエティに富み、小さい人向けのお話も含まれるよう、1冊の倍ぐらいのお話を訳してもらいました。この段階で刊行を断念した国(地域)もあったそうです。

訳文に、語り手が語りやすく、聞きやすいように手を加えた後、研究者、語り手、編集部で検討する際は、必ず音読し、耳でお話を聞いて「読み合わせ」をして、話の内容が目に見えるような訳文になるように努めました。しかし、表現を変更することによりその国らしさが損なわれる場合は、多少わかりにくくてもあえてそのまま残すこともありました。



～昔話は人生の真実が詰まっている～

言語(原典)やその国の文化に忠実であると同時に、昔話を語ること、耳で聞くということを大事にして作られたことにより、「子どもに語るシリーズ」は語りのテキストとして、そして語りを聞いた子どもたちが本を手にすることで、支持され続けています。全23巻のすべてが絶版になることなく版が重ねられているそうです。関谷さんは「研究者、語り手、編集者の『昔話への信頼』があったからこそ、シリーズを続けることができた」と仰っていました。そして、ご自身の体験から昔話の普遍性について言及され、現在のような困難な時代だからこそ、人生の真実が詰まった昔話をたくさん語ったり、家で読んであげることが、生きる力になる、と締めくくられました。

講演の最後に「子どもは絵本を求めている。子どもと本の間を仲介する大人の存在が必要。デジタル化が子どもたちの間でも進んでいるが、本は本として残ることに意義があるし、子どもたちのためにも力を貸してほしい」と仰り、子どもに本を手渡すことへの思いを強く感じました。



<シリーズの装丁について>

シリーズの装丁は、全巻足立^{あだち}秀夫^{ひでお}さんが手がけました。装丁を依頼するタイミングは、語り手や編集者がその国の昔話の特徴を掴みかけたところで、「その国らしさ」が出るよう、その国で出版されている本や民芸品の写真を足立さんに提示したこともあったそうです。足立さんはいつも、全てのお話に目を通し、その国らしさを感じとって、デザインしてくださいました。



特別整理期間に伴い、

2月18日(金)～2月24日(木)

の期間を休館いたします。



特別整理期間中は図書館を休館し、所蔵資料の総点検を行います。
図書館にある全資料のバーコードを読み取って、コンピューターのデータと照らし合わせ、行方不明になっていたり間違っていたところに置かれていたりしていないかをチェックします。
休館中はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

大野図書館 2月10日(木)～2月17日(木)
さいき図書館 2月21日(月)～2月25日(金)

※大野・さいき図書館は、月曜日は休館しています。



2月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18 休館	19 休館
20 休館	21 休館	22 休館	23 休館	24 休館	25	26 ☆
27	28					

2/4(金)・12(土)のおはなし会は、
新型コロナウイルス感染防止のため、
中止いたします。

2/18(金)のおはなし会は、特別整
理期間中のため、ありません。

☆ おはなし会

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては
中止する場合があります。

【対象】 幼児～小学校低学年

【時間】 11時～

※整理券配布時間 10時40分～10時50分

相談カウンターで整理券を配布しています。
配布時間が決まっていますので、ご注意ください。